

■新型コロナウイルス抗体検査の説明と同意書■ 体温 °C

＜新型コロナウイルス感染症に関する検査について＞

ウイルス感染に関する検査には遺伝子(PCR)、抗原、抗体(IgM, IgG)等の検査があります。発症前後はPCR検査や抗原検査、IgM抗体検査が陽性になりやすく、発症から3週間目以降はIgG抗体検査が陽性になるといわれています。つまり、感染していたことを後から知るためにはIgG抗体検査が適しているということになります。当院では新型コロナウイルスに対するIgG抗体があるかを血液検査で測定します。一般的にはIgG抗体があれば、再度感染症にはかかりにくくなり、感染した場合も症状が軽度ですむといわれていますが、新型コロナウイルスに関して現在のところ定まった見解は出てません。したがって抗体が陽性だからといって、二度と感染しないとはいえません。

令和2年7月1日現在、新型コロナウイルス感染症の診断についてはPCR検査(鼻咽頭ぬぐい液及び唾液)と抗原検査が「医薬品・医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(薬機法)」で認められてますが、抗体検査は体外診断用医薬品として承認を得てません。

＜検査対象の方＞

- ・ 以前、自分が知らないうちに新型コロナウイルスに感染していたのか確認したい方。
- ・ 以前、風邪症状があったが、それが新型コロナウイルスだったか知りたい方。

15歳以上の無症状の方のみが対象です。現在体調不良の方や2週間以内の感染症状、海外渡航歴、濃厚接触歴がある方は検査を受けられません。

＜検査方法＞

指先または静脈から少量の血液を採取します。

イムノクロマト法(倉敷紡績株式会社)による定性検査です。正診率は約94%とされています。

＜注意事項＞

本検査は研究試薬による調査であり、医薬品による診断ではありません。

当院ではPCR、抗原、IgM抗体検査は行っておりません。ご予約いただき来院されても、来院時に風邪症状や37.5度以上の発熱がある方は抗体検査を受けていただくことはできません。検査結果(15~30分後)はその場でお渡しいたしますが、新型コロナウイルス非感染証明等の診断書は発行いたしません。検査結果は個人が特定できない形で、研究、疫学調査のために公的機関や学会発表等に使用することがあります。費用は保険適応外(自費)で7000円(税込)です。(初診料、検査、結果説明含む)

井上医院 院長 井上曜三郎殿

私は、新型コロナウイルス抗体検査に関する説明を受けた上で十分に理解しましたので、新型コロナウイルス抗体検査を受けることに同意いたします。

同意日：令和 年 月 日

患者氏名：